



平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年8月9日

上場会社名 株式会社 久世 上場取引所 東
 コード番号 2708 URL http://www.kuze.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)久世 健吉
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)後藤 明彦 (TEL)03(3987)0018
 四半期報告書提出予定日 平成28年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績(平成28年4月1日~平成28年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	14,809	△10.3	72	—	115	—	89	—
28年3月期第1四半期	16,502	0.8	△130	—	△90	—	△63	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △0百万円(—%) 28年3月期第1四半期 △49百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	23 56	—
28年3月期第1四半期	△16 29	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	18,247	4,867	26.7
28年3月期	18,867	4,914	26.0

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 4,867百万円 28年3月期 4,914百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0 00	—	12 00	12 00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	0 00	—	12 00	12 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日~平成29年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
第2四半期(累計)	30,800	△8.8	100	—	120	46.2	81	△28.7	20	92
通期	63,000	△6.2	485	10.4	530	△10.7	380	△21.8	98	14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期1Q	3,882,500株	28年3月期	3,882,500株
29年3月期1Q	75,173株	28年3月期	75,173株
29年3月期1Q	3,807,327株	28年3月期1Q	3,878,979株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、日銀によるマイナス金利の導入という大胆な金融政策にも関わらずデフレ傾向に歯止めがかからず、また中国をはじめとする新興国の景気減速や地政学的リスクを背景とする円高、株安が進行しました。更に6月下旬には英国のEU離脱という衝撃的なニュースが金融市場に大きな混乱をもたらし、先行きの不透明感は益々増大しております。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場におきましても、一部特色のある飲食店や訪日外国人消費の増加による明るい伸びはあったものの、全般的には消費者の可処分所得減少による節約志向は続いており、環境は楽観を許さない状況にあります。

このような状況のもと、安定的な収益基盤の構築を最優先課題とし、中期経営計画「第3次C&G中期経営計画」（平成27年4月～平成30年3月）の2年目として、新規得意先の開拓及び既存得意先との関係強化、提案営業を重視した営業体制の一層の整備と推進、徹底した物流業務の効率化による物流費の削減、物流システムの導入や業務見直しによる品質向上を積極的に進め、引き続き事業ミッションに「頼れる食のパートナー」を掲げ、「お客様満足度NO.1」の具体化に積極的に取り組んでまいりました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は148億9百万円（前年同期比10.3%減）、営業利益は72百万円（前年同期は1億30百万円の営業損失）、経常利益は1億15百万円（前年同期は90百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は89百万円（前年同期は63百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、新規得意先の開拓による営業基盤の拡大と既存得意先との取引深耕に努めるとともに効率性を意識した営業を推進し、品質面や価格面で競争力のある商品の提案営業を行ってまいりました。更に経営課題である物流改善については、配送コースの組み換えによる車輛台数の削減などの課題に対応し、全般的な効率化に取り組んでまいりました。

このような結果、売上高は137億44百万円（前年同期比11.2%減）、セグメント利益（営業利益）は1億90百万円（前年同期は7百万円のセグメント利益）となりました。

(食材製造事業)

当セグメントにおきましては、引き続き自社ブランド商品の販売強化と、生産性の向上による効率化を鋭意進めてまいりました。

このような結果、売上高は10億68百万円（前年同期比3.3%増）、セグメント利益（営業利益）は1億12百万円（前年同期比57.8%増）となりました。

(不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は36百万円（前年同期比0.0%減）、セグメント利益（営業利益）は28百万円（前年同期比1.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億19百万円減少し、182億47百万円となりました。これは主として現金及び預金が2億25百万円、受取手形及び売掛金が4億33百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ5億73百万円減少し、133億80百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が2億71百万円、1年以内長期借入金が1億16百万円、長期借入金が1億88百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ46百万円減少し、48億67百万円となりました。これは主として利益剰余金が44百万円増加し、その他有価証券評価差額金が40百万円、為替換算調整勘定が49百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の26.0%から26.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。現時点での連結業績予想につきましては、平成28年5月10日に公表いたしました連結業績予想に修正はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、当第1四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,438	4,212
受取手形及び売掛金	6,612	6,179
商品及び製品	2,045	2,118
原材料及び貯蔵品	219	215
その他	718	637
貸倒引当金	△41	△40
流動資産合計	13,992	13,322
固定資産		
有形固定資産	2,225	2,178
無形固定資産	135	159
投資その他の資産		
その他	2,574	2,647
貸倒引当金	△59	△59
投資その他の資産合計	2,514	2,587
固定資産合計	4,875	4,925
資産合計	18,867	18,247
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,900	8,628
短期借入金	180	180
1年内返済予定の長期借入金	1,137	1,020
未払金	802	746
未払法人税等	72	45
賞与引当金	233	364
その他	401	376
流動負債合計	11,728	11,363
固定負債		
長期借入金	1,467	1,278
役員退職慰労引当金	167	171
退職給付に係る負債	190	197
資産除去債務	72	73
その他	327	296
固定負債合計	2,225	2,016
負債合計	13,953	13,380

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	302	302
資本剰余金	291	291
利益剰余金	3,806	3,850
自己株式	△55	△55
株主資本合計	4,345	4,389
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	510	469
繰延ヘッジ損益	—	3
為替換算調整勘定	70	20
退職給付に係る調整累計額	△11	△15
その他の包括利益累計額合計	569	478
純資産合計	4,914	4,867
負債純資産合計	18,867	18,247

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	16,502	14,809
売上原価	13,747	12,003
売上総利益	2,755	2,806
販売費及び一般管理費	2,885	2,733
営業利益又は営業損失(△)	△130	72
営業外収益		
受取事務手数料	20	17
受取配当金	15	16
物流業務受託収入	9	9
その他	26	22
営業外収益合計	71	65
営業外費用		
支払利息	5	4
物流業務受託収入原価	15	13
その他	10	4
営業外費用合計	31	21
経常利益又は経常損失(△)	△90	115
特別利益		
投資有価証券売却益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
固定資産除却損	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	△90	116
法人税、住民税及び事業税	4	43
法人税等調整額	△31	△16
法人税等合計	△26	27
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△63	89
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	△63	89

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△63	89
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	53	△40
繰延ヘッジ損益	—	3
為替換算調整勘定	△39	△49
退職給付に係る調整額	0	△3
その他の包括利益合計	14	△90
四半期包括利益	△49	△0
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△49	△0
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	15,465	1,034	2	16,502
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4	—	33	38
計	15,469	1,034	36	16,540
セグメント利益	7	71	27	106

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	106
セグメント間取引消去	△0
全社費用(注)	△237
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△130

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	13,738	1,068	2	14,809
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6	—	33	39
計	13,744	1,068	36	14,848
セグメント利益	190	112	28	331

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	331
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△259
四半期連結損益計算書の営業利益	72

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。